

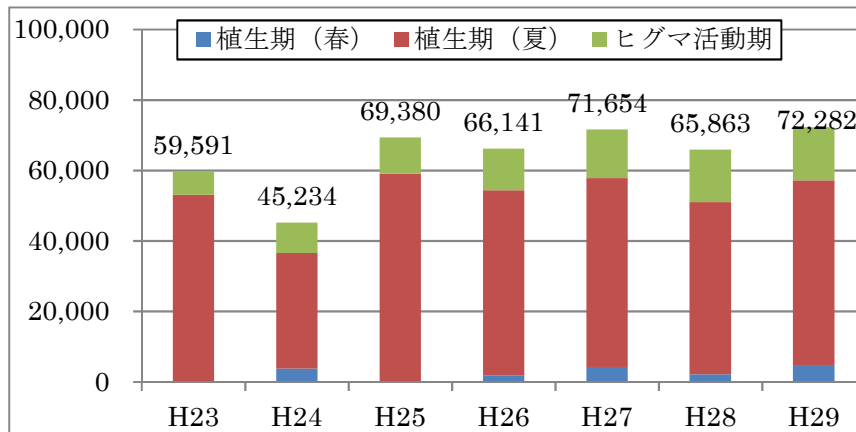
知床五湖地区における取組の進捗状況について

トピック

地上遊歩道立入者数は 72,282 人（前年比 110%）となり制度運用開始以降最高

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・運用期間：平成 29 年 4 月 20 日～10 月 20 日
- ・植生保護期（春期：4/20～5/9）立入認定者数：4,786 人（前年比 219%）
- ・ヒグマ活動期立入認定者数：15,072 人（前年比 102%）
- ・植生保護期（秋期：8/1～10/20）立入認定者数：52,424 人（前年比 107%）
- ・上記合計の地上遊歩道立入者数：72,282 人（前年比 110%）※制度運用開始以降最高



【制度運用期間立入認定者数】

- ・ヒグマ遭遇：植生保護期（春期）0 回（前年 1 回）、ヒグマ活動期 30 回（前年 46 回、うちツアー中止 14 回（前年 6 回）、植生保護期（秋期）14 回（前年 2 回）
- ・4～10 月の知床五湖駐車場利用車両台数：乗用車 57,858 台（前年比 108%）、バイク 3,276 台（前年比 104%）、マイクロバス 217 台（前年比 93%）、大型バス 3,497 台（前年比 94%）

※上記の値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

2. 知床五湖利用期区分の再検討について

地上遊歩道のより安全でわかりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、春期の現行植生保護期をヒグマ活動期に、秋期の現行自由利用期を植生保護期に変更し、開園～7 月をヒグマ活動期、8 月～閉園を植生保護期とすることを検討中

- 春期検証実験**（ツアー参加/非参加者を対象としたアンケート、引率者への聞き取り、積雪や踏み外し等を確認する定点調査）

- ・春期検証実験期間中のツアー参加者数：64組 308名
 - ・アンケートは、実験ツアーのみ利用できる大ループコースのツアー参加者、及び一般供用されている小ループコースのツアー非参加利用者を対象に、制度改定の賛意等に関するアンケートを実施
 - ・ツアー参加者の81%が「大変望ましい」「望ましい」、11%が「どちらでもない」、5%が「望ましくない」「大変望ましくない」と回答、対してツアー非参加者（小ループ利用者）は32%が「大変望ましい」「望ましい」、18%が「どちらでもない」、42%が「望ましくない」「大変望ましくない」と回答
 - ・ツアー参加者は引率ガイドの解説などに一定の価値を感じた一方、ツアー非参加者は単なる値上げや規制の強化に感じたと考えられる
- 秋期検証実験**（実験レクチャーの実施、利用者アンケート調査）
- ・秋期検証実験期間中のレクチャー参加者数：1,337名
 - ・レクチャー参加者にアンケートを配布（計996部）、約3割の268部を回収
 - ・制度改定に対して利用者の83%が「大変望ましい」「望ましい」、11%が「どちらでもない」、5%が「望ましくない」「大変望ましくない」と回答
 - ・制度改定によるレクチャー実施に一定の需要を確認した

3. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

- 第37回知床五湖登録引率者審査部会：平成29年12月7日
- 第37回知床五湖の利用のあり方協議会：平成29年12月19日
- 第28回知床五湖登録引率者審査部会：平成30年2月1日
- 第38回知床五湖の利用のあり方協議会：平成30年3月（予定）

4. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・平成30年度引率者数：35名（内新規3名）の予定（前年35名）
- ・平成30年度新規養成者募集期間：平成30年3月1日～3月30日